

# 会社や業種の壁を越えて語らい

## 2019ベルマーク協賛・協力会社懇談会

商品にベルマークを付けている協賛会社と、ベルマークで買える商品を提供する協力会社の各担当者が一堂に集まる、「協賛・協力会社懇談会」が3月7日、東京都中央区のホテルで開かれ、協賛会社29社52人、協力会社8社15人が参加しました。銭谷眞美・ベルマーク財団理事長のあいさつで開会し、事務局から運動の現況と2019年度事業計画・予算の説明がありました。

その後、あいおいニッセイ同和損保・マーケット開発部の石原正幸部長が「ベルマーク協賛企業としての弊社の取組み」と題して講演しました。同社は2000年からベルマーク運動に参加していますが、2016年から、自治体などと協力して地域の様々な課題を解決していく

「地方創生プロジェクト」を始め、200以上の自治体と包括連携協定を結んでいます。その中で、マーク回収BOXを共同設置するなど、ベルマークの活動を多く取り入れています。

また、「すべての子どもに等しく豊かな環境の中で教育を受けさせたい」というベルマークの理念は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の活動にも合致していると石原部長は指摘。今後、協賛会社・協力会社間で共同して普及に取り組んでいきたいと話しました。

講演の後は会場を移して懇談。異なる会社の人どうしが、ベルマーク運動という共通項を介して、話に花を咲かせていました。



④配られたベルマーク新聞を読む出席者  
⑤講演するあいおいニッセイ同和損保の石原部長



# 「AD全国プロ会」がマーク寄贈

## あいおいニッセイ同和損保の専門代理店

協賛会社のあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（本社・東京都渋谷区、ベルマーク番号92）の専門代理店で組織する「AD全国プロ会」が集めたベルマークが、2月22日、ベルマーク財団に寄贈されました。全国1181の加盟代理店が、店頭で回収箱を置くなどして年間を通じて集めたものです。

寄贈式は、同本社センチュリーホールで開かれた「支店プロ会代表者会議」の中で行われました。AD全国プロ会の野田健一会長は、「被災地の復興のために役立ててください」と話し、財団の平井公常務理事に、アクリル製の箱にぎっしり詰まったベルマークを手渡しました。点数はこれから同社で集計します。



AD全国プロ会の野田健一会長（左）と平井公常務理事

# 全国1位に富山・射水市の大島小学校

## ショウワノート「第45回ベルマークキャンペーン」

協賛会社のショウワノート（ベルマーク番号53）が実施していた「第45回ベルマークキャンペーン」の表彰校が決まりました。2018年1月1日から12月31日の1年間にベルマーク財団で検収されたマークのうち、同社のベルマーク点数が多かった学校が対象です。

全国1位は、10,870点を集めた富山県の射水市立大島小学校（児童数693人）。小学校以外の部では、6,369点を集めた兵庫県の西宮市立学文中学校（生徒数776人）が1位でした。1位校と、全国8ブロックの各上位3校には、同社から表彰状と百科事典や学習帳などが贈られます。3,000点以上集めた小学校にも感

謝状と学習帳が贈られます。今回は11,227校から合計3,569,078点のマークが集まりました。

このキャンペーンは、自動的に点数が記録されるのでエントリーの必要はありません。2019年もふるってショウワノートのベルマークをお送りください。

- 今回のブロックごとの結果は以下の通りです。
- 【北海道・東北】①宮城教育大学附属小9,245点 ②いわき市立菊田小4,714点 ③相馬市立桜丘小4,531点
  - 【関東】①香取市立佐原小9,382点 ②横浜市立駒岡小8,998点 ③習志野市立東習志野小6,992点
  - 【東京】①練馬区立中村小10,320点 ②田園調布雙葉小

- 7,914点 ③杉並区立高井戸第二小7,135点
- 【北陸・甲信越】①高岡市立福岡小9,122点 ②魚津市立清流小7,688点 ③燕市立分水小5,165点
- 【東海】①岩出市立根来小5,283点 ②名古屋市立西山小3,486点 ③該当なし
- 【近畿】①四條畷学園小3,840点 ②大阪市立本田小3,631点 ③該当なし
- 【中国・四国】①尾道市立日比崎小8,591点 ②下関市立勝山小7,313点 ③倉敷市立児島小7,002点
- 【九州・沖縄】①那覇市立小緑小8,905点 ②久留米市立合川小5,344点 ③明治学園小4,304点

## 日本テトラパック「アルミ付き紙パック回収チャレンジ」を実施

協賛会社の日本テトラパック（ベルマーク番号17）が「第2回アルミ付き紙パック回収チャレンジ」キャンペーンを実施します。

内側が銀色の「アルミ付き」の同社紙パックを集めた重量に応じて、豪華賞品がもらえます。詳細は新年度資料に同封のチラシか日本テトラパックのベルマーク運動のサイトをご覧ください。



## NGPが自動車リサイクル工場見学希望の小学生を募集

協賛会社のNGP日本自動車リサイクル事業協同組合（ベルマーク番号76）が工場見学を希望する小学校を募集しています。対象は9道県10工場。自動車が分解され、部品がリサイクルされていく工程を学ぶことができます。時間は60分～90分。参加者にはオリジナルノートをプレゼント。詳細は財団HPをご覧ください。



## スミフル「スミフルバナナを貰おう!」「ベルマークを集めよう!」

協賛会社のスミフルジャパン（ベルマーク番号70）が「スミフルバナナを貰おう!」「ベルマークを集めよう!」という2つのキャンペーンを今年も実施します。

「貰おう」はInstagramを使って「#スミフルのベルマークバナナ」をアピールするもの。20校にスミフルのバナナが当たります。締め切りは6月末。「集めよう」は12月10日までに財団に届いたスミフルのマークが対象でエントリー不要。集めたスミフルの点数が3000点以上の学校に対し、点数に応じて3000～15000点が加算されます。

詳細は各学校にお届けする新年度資料に同封したチラシか、スミフル公式Instagram、スミフルのベルマークキャンペーンのページをご覧ください。



## スリーエムジャパンの番号が21番に統一

協賛会社のスリーエムジャパンのベルマーク番号が、2019年4月1日から21番に統一されました。

今までスポンジなどのクリーニング用品が20番、接着剤や粘着フックが21番でした。

20番のマークも引き続き有効です。21番と一緒に集計処理して整理袋に入れてください。

## 旭松食品が協賛会社を脱退

旭松食品（ベルマーク番号51）が2019年3月末日でベルマークの協賛会社から脱退しました。同社のベルマークは本年の9月30日ベルマーク財団到着分まで有効です。同社は長野県飯田市に本店があるこうや豆腐メーカーで、1969年から運動に参加。50年間、主力商品のこうや豆腐にベルマークを付けてきました。

## 財団大阪事務所を閉鎖

ベルマーク財団は2019年3月末をもって大阪事務所を閉鎖します。大阪事務所の業務は東京の財団事務局が受け持ちます。大阪事務所はこれまで関西地方を中心に、学校や協賛会社との連絡や取材を担当してきました。インターネットを始めとする通信の発展等に鑑み、財団では業務を統合して、より一層の効率化を図ります。